

4 結果と考察

- (1) 交通量の状況によって、汚染の程度がどのようにちがうかを調べてみる。
自動車の排気ガスの影響を強く受ける国道沿線、駐車場周辺などでは、汚染率が高くなることが予想される。
- (2) 調査地点をまとめた地域に設けて、継続的に観察し地図などに記録しておく。その地域の汚染状況の検討を試みる。
- (3) 生徒の通学区域から、それぞれマツの葉を学校にもち寄せ、気孔での汚染状況を比較させてみる。